

鶴岡市 地域まちづくり未来事業計画の推進（29年度は地域振興ビジョンに基づく施策の推進）

事業名	事業費			31年度 事業内容
	H31	H30	H29	
地域振興懇談会運営事業	135万7千円	266万円	136万9千円	・地域振興懇談会を開催し、各地域の課題解決策や地域の活性化策について協議を進める。
地域まちづくり未来事業検討会議		8万3千円		
地域まちづくり未来事業（鶴岡）	3,022万6千円			・鶴岡地域の広域コミュニティ組織が実施する地域活性化プロジェクトに対し、公募を行い支援する。
地域まちづくり未来事業（藤島）	6,098万7千円	4,990万8千円	503万7千円	1.豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現 1,982万3千円 2.歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進 3,948万3千円 3.くらしやすい「藤島」を実感できる生活基盤の再構築 168万円1千円
地域まちづくり未来事業（羽黒）	5,139万9千円	3,495万3千円	211万円	1.人を惹きつけ魅力ある観光の推進 5,031万5千円 2.地域の特色を生かし価値を高める農業の推進 1,08万4千円
地域まちづくり未来事業（榊引）	2,191万4千円	5,589万7千円	211万円	1.果樹産地の特色を生かしたフルーツの里づくり 474万5千円 2.農業自然体験に着目した都市農村交流の推進 646万9千円 3.黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進 575万8千円 4.コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進 494万2千円
地域まちづくり未来事業（朝日）	5,689万9千円	2,955万円	617万4千円	1.中山間地における定住環境の支援 1,751万4千円 2.森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興 724万3千円 3.自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興 3,214万2千円
地域まちづくり未来事業（温海）	4,095万1千円	4,352万1千円	600万6千円	1.あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出 2,035万円 2.日沿道延伸を生かした鼠ヶ岡周辺地域の活性化 20万円 3.自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大 335万4千円 4.農林水産資源のブランド化 409万5千円 5.次代を見据えた自治会機能とコミュニティ機能の強化 33万7千円 6.海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備 1,261万5千円
地域間連携事業			200万円	
合計	2億6,373万3千円	2億1,657万2千円	2,480万6千円	

啓蟄

雲淡東風日已和
雪消草弱見花柯
瑤園千樹捐捲蓆
孰見庭梅春信多

啓蟄

雲淡くして東風日に已に和らぎ
雪消えて草弱し花柯を見る
瑤園千樹捲蓆を捐てる
孰見庭梅春信多し

城貞（藤の花）

雲がうすくなり、春風が日ごとに柔らかく吹いてきた。雪がようやく消えて、若草も顔を出してきて、これから咲く木の枝（梅、桃、桜）を見る。

立派な公園の、多くの樹に巻いてある虫捕りのむしろは取って捨てられてやがて庭に植えてある梅も綻び、春が来たという知らせが多く聞かれるのだ。

啓蟄 二十四気の一つ、陽暦三月五日、六日頃。淡うすい。濃い冬の雲から春の雲になる。東風 春風。弱 若い。柯 木の枝。瑤園 里つばな公園。千樹 多くの木の捐 する。とりのぞく。捲蓆 虫捕りの為の巻いたむしろを取って捨てる。捲 くるくる巻く。蓆 むしろ。孰 近々。そのうちに。春信 春がきた知らせ。春のおとずれ。

「地域まちづくり未来事業」が本格実施

鶴岡市の「地域まちづくり未来事業」が、平成31年度から本格実施されます。

31年度から概ね3年程度を目途に計画を策定し、毎年度見直しを行いながら実施となります。

各庁舎にPT設置

地域庁舎のあり方も見直しされ、地域の活性化に向けた「地域振興機能」と、災害に対応する「危機管理機能」を拡充します。

各庁舎に「未来事業推進員」を配置し、プロジェクトチーム（PT）を設置します。

藤島は「藤島農産物元気食楽部の設置」、羽黒は「人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進PT」、榊引は「果樹産地をブランド化するフルー

ツの里づくりPT」、

朝日は「中山間地における定住環境づくりPT」、

温海は「次代を見据えた自治機能とコミュニティ機能の強化PT」などです。

小規模修繕予算を拡充

地域まちづくり未来事業に関連したものと、小規模修繕予算を拡充します。

平成30年度は各地域庁舎500万円の予算でしたが拡充されます。既存のまちづくり関連事業補助金を統合します。

担当部署が異なる「鶴岡いきいきまちづくり事業」「鶴岡パートナーズ」「住民自治組織ステップアップ事業」を、「市民まちづくり活動促進事業」に統合し活用しやすくします。

新しい地域庁舎の姿

地域の活性化に向けた地域振興機能

- 食品加工
- フルーツタウン
- エコ農業
- 伝統芸能
- 市民意見を反映
- 観光・自然体験・温泉
- 生涯学習
- 在来作物

災害に対応する危機管理機能

- 本所
- 協力・連携
- 復旧工事
- 避難指示
- 避難所運営
- 被害確認

住民に身近な窓口機能

- 本所
- 本所集約 利便性への配慮
- 施設等の日常的維持管理（道路・除雪・公園など）
- 本所専門担当との相談（各種手続・生活相談など） TV電話の活用
- 各種手続き ICTの活用による効率化
- 健康・福祉相談
- 庁舎窓口

銀行カードローン 利息の不可思議

新町 齋藤留治

お世話になっている病院の看護師さんが、ある時注射器を手にして「齋藤さん、何か困っている事ネガー」と聞いて来た事があった。思わず「金が無い事かな」と返してやった。

今、仮に100万円を1年定期で預けた場合、付く利息はたったの100円、それから利子税、復興特別税を引くと手に出来るのは雀の涙である（種類で若干の相違）。

一方、銀行が「スマホでカード申し込みOK、審査回数最短30分」等と宣伝をしている「銀行カードローン」に手を出すと12〜3万の利息をとられてしまうという。

先日、新聞に「自己破産・前年比6・2%増加」という記事が掲載されていた。

記事によると、自己破産申立件数は7万3千件、貸金業法の改正により減少をしていたが、再び増加に転じているようだ。

以前、自己破産の原因を作っていた消費者金融に代わり、増えているのが「銀行カードローン」。

鶴岡のマチキネに行っても予告編冒頭に某銀行の「カードローン」宣伝を見せつけられたのは記憶に新しい。カードローンと聞けば、誰でも消費者金融（サラ金）を連想して慎重になると思うが、

相手は銀行。利息を考えずに簡単に借りてしまうケースが多いらしい。

ところが貸し付け金利は高いもので14・5%位（金額の多寡で違う）。

こんな高利なものに手を出したら、金利に追いまくられた利用者の生活を着実に蝕み、家族をも巻き添えにして人生を狂わせる事になるのでは。

銀行も焦げ付いたら大変なので、何か不良債権となる事を想定して消費者金融会社に保証を依頼していると言われる。

銀行協会は、「利用者の利便性」を唱えて過剰貸出批判に答えているが、実態は言葉と

スローガンが踊るアベノミクスにより、本業では飯を食えないのでカードで荒稼ぎということでは。

時と場合によっては「銀行カードローン」が必要な方もいると思うので、すべて否定は出来ないが、「戦後最長の景気」の言葉に騙されないで、私達も賢い利用者にならないければと思った。

第93回 明治ホールコンサート
春のおとずれ
川田麻美メソプラノコンサート
3月9日(土) 午後2時開演
入場料 大人 1,500円・中学生以下無料(要整理券)
ピアノ コチシュクリスティアン
■チケット1月中旬発売。お問合せは東田川文化記念館 ☎0235-64-2537まで(月曜日休館)

だまされては遺憾!

アメリカ従属を具体化した日米安保条約 ③

吉田茂だけ署名の「不肖の子」

青山崇

講和条約に続いて、アメリカ合衆国代表と吉田は、近くの基地内の集会所に移動し、日米安保条約に調印した。日米安保条約には首席大使・吉田茂のみが署名した。

吉田は池田勇人蔵相に、「この条約はあまり評判がよくない。君の経歴に傷が付くといけ

衆国の陸軍、空軍及び海軍を日本国内及びその附近に配備する権利を、日本国は、許与」(第1条)するとし、アメリカは、日本国内のどこでも自由気ままに基地をつくり、アメリカ軍が駐留することになった。基地貸与条約と言われる由縁である。

2つは、改悪された60年安保条約に基づき締結された日米地位協定である。

この協定を一言でいえば、(在日米軍と軍人、



何とも変だぜ

びつくりしたなモーターなんて一寸古いフレーズですが、ナンダナダヤと思いましたが。日本を代表してノーベル平和賞に推薦します・という安倍首相からコピートを貰ったとのトランプさんの発表をだ。

▲これには、片手では足りない程の「なぜ」を感じませんか。俺には、日本人として少しの恥ずかしさと淋しさも感じましたぞ。

▲当然国会で取り上げられた。首相はその事実を否定しないで、ノーベル委員会は50年間推薦を明らかにしないことにしているから話せないとの答だ。

▲ヤラセとの報道もあるようだが、貰った方が喜んで喋っているんですけど。なにをカッコつけているんだい、と言いたいネ。コピイがあると言ったヨ。軽い

軍属、家族らは日本の法律に縛られず自由に行動できる」不当な取り決めである。

アメリカ兵が、日本国内で罪を犯しても日本が処罰できず、アメリカ兵への日本の第一次裁判権がないことなど。

さらに、軍人はもちろん軍属・家族にパスポートなしでの入国・高速道路の無料・国際免許証の不必要などの特権が与えられている。

じゃないですか、全く。しかし、あつちで言わなければ判らないことだったんだ。ということは、電話会談をしたと言う報道がときたまあるが、こつそりコピイのやり取りも出来るという事だぜ。どんな隠し事があるか知れない怖さがあるじゃないですか。今の彼には。

▲安保条約には色々密約があつて、向こうはそれで我が国を自由勝手に使っているが、こちではそんな物は無いということがショウチュウでしょう。つまり、国民にウソをついているんだ。

▲先日明らかにしたのは、共産党の穀田議員が暴露した「米軍機がどこをどのよう飛ぶか・どんな訓練をするか」は、日本が「知らない」のではなく、「明らかにしない」という密約があつたというもの。そして墜落は不時着とくる。(石川)